

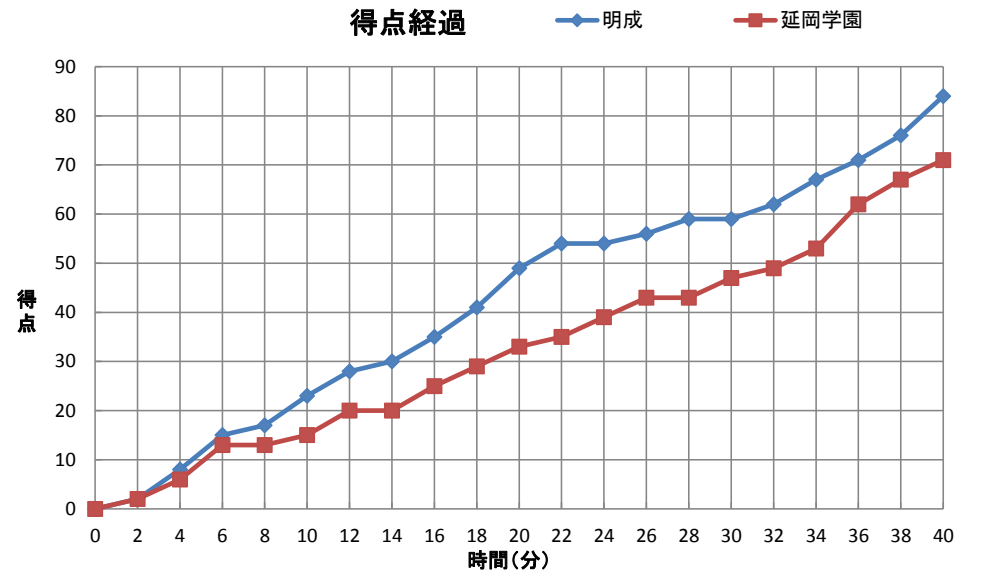


平成27年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会
第68回全国高等学校バスケットボール選手権大会

個人トータル表

男 子							平成27年7月31日 13:20 開始						
3 回戦							ハンナリーズアリーナ A						
◎ 明成 (宮城県)							71 延岡学園 (宮崎県)						
84							23 1st 15 26 2nd 18 10 3rd 14 25 4th 24						
番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則
4	庄司 勇人	4	0	0	4	0	* 4	石田 裕太郎	13	3	2	0	2
5	井上 駿	0	0	0	0	0	5	SYLLA MAMADOU	2	0	1	0	2
* 6	納見 悠仁	22	2	7	2	2	* 6	山田 颯士郎	2	0	1	0	4
* 7	富樫 洋介	3	1	0	0	1	7	池浦 健太郎	-	-	-	-	-
* 8	八村 塁	35	1	11	10	1	* 8	田上 元己	10	0	5	0	0
* 9	足立 翔	4	0	2	0	1	9	ナロン 竜平 ショーン	-	-	-	-	-
* 10	三上 侑希	13	3	2	0	4	10	染川 昂	-	-	-	-	-
11	伊藤 修人	3	1	0	0	1	11	水谷 慎之介	0	0	0	0	1
12	江戸保 礼央	-	-	-	-	-	12	五代 雅己	10	0	5	0	3
13	相原アレクサンダー学	-	-	-	-	-	13	渡辺 新	-	-	-	-	-
14	八村 阿蓮	0	0	0	0	0	* 14	榎田 拓真	22	1	8	3	3
15	本間 紗斗	-	-	-	-	-	* 15	DIOP NAME CHEIKH IBRAHIMA	12	0	6	0	4
コーチ	佐藤 久夫					0	コーチ	川添 裕司					0
Aコーチ	薦木 大智						Aコーチ	内村 昌弘					
合 計		84	8	22	16	10	合 計		71	4	28	3	19
主審: 清水 幹治													
副審: 平澤 明男													

得点経過



CTO	1・2P		3・4P		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	37:44	:	:	:	:	:
TeamB	18:04	:	:	:	:	:	:	:

〔 戦 評 〕

高校総体優勝を狙う明成高校と2年ぶりの高校総体出場の延岡学園のベスト8進出を賭けた試合。第1P、両チームマンツーマンでスタート。序盤は両チームとも得点を決めることができない。試合が動き出したのは開始2分頃。明成は#8のインサイドプレイ、#10の3Pとオフェンスのリズムを掴む。対する延岡学園も#8のシュートがよく決まり、第1Pは23対15と明成リード。第2P、延岡学園の#4の3P、#12のジャンプシュートが連続して決まり点差を3点差まで縮める。しかし、明成は絶対的エースの#8にボールを集め確実に得点を重ねていく。延岡学園は明成の2-2-1ゾーンプレスに苦戦し思うように攻めきれない。明成は延岡学園のミスから得たチャンスを確実に得点に繋げ、リードを広げることに成功。49対33で前半を終了した。第3P序盤、明成#8が3Pを決めると、負けじと延岡学園も#12がドライブインを決め返し、両チーム譲らぬ展開となるかと思われた。しかし、明成のシュート精度が徐々に落ちてきてしまう。延岡学園はディフェンスリバウンドを確実に押さえ、#12が速攻で点を取っていく。結局このピリオド最後まで明成のシュートタッチは戻らず59対47で終了した。第4P、延岡学園#15の攻守においてゴール下での活躍が光り、点差を8点まで追いつける。残り時間2分のところで明成はタイムアウトを取ることで落ち着いてゲームを締めにかかる。延岡学園はファウルゲームに持ち込むも、明成の選手はフリースローを確実に決め84対71で勝利。明成がベスト8進出を決めた。明成の苦しい時間帯も冷静にゲームをコントロールする力や勝負所での球際の強さが印象的であった。敗れた延岡学園も、驚異的な粘りと爆発力が見事であり、称賛を送りたい。

戦評: 濱頭 連太郎

記録: 京都すばる高校